

麻生区区民会議 第2回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成24年10月1日（月）午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所：麻生区役所第2会議室

3 出席者：[委員]

金光部会長、石井委員、菅原委員、村主委員、田中委員、東川委員
[事務局]

安生課長、白石、藤江、桑原

4 傍聴者：なし

5 議 事

(1) 広報・広聴活動について

ア 区民会議ニュース

【決定事項】

- ・第1回部会決定事項（審議テーマ等）を反映して発行する。
- ・発行日：10月23日（火）⇒印刷・発送準備作業 14:00～金光部会長、田中委員、東川委員が作業。
- ・裏面意見書について
様式：回答者属性を記載。麻生区民については、町名も記載していただく（※傍聴者アンケート様式も同様に修正する）。提出方法に区役所持参も追記する。
取得方法：HPからもDLできるようにする。
- ・リード文最後の文章：次のように修正する。
「今後、20人の委員は、区民の皆様からのご意見・ご提案もいただきながら、調査・審議・試行に取組み、区長への提言などを行います」

(主な意見)

- ・リード文最後の文章、「区民会議が解決策を提案し、区政へ反映していただくべく」という表現について、区政反映という手段しか持たないととられるのは違和感がある。
- ・区民とともに作り上げるという、区民への期待やメッセージを表す表現を追記したい。
- ・「調査・審議・試行」とあるが、「試行」までできるのか。
←机上の空論だけではない、という意味で試行を入れたい。

イ PR活動

【決定事項】

- ・各メディアへのアプローチ方法について、たたき台を金光部会長が作成する。
- ・メディア3紙の発行月等を整理する。

(主な意見)

- ・PR活動に異論はないが、ターゲットをどこにするかが問題。全ての候補（メディア）に依頼するのか、1つに絞るのか。
- ・個々人レベルのインフォーマルな対応ではなく、区民会議として、公式に3紙（メディ

あさお、マイタウン、タウンニュース)に依頼すべき。

- ・記事として掲載してもらうには、興味をもたれる面白い記事をつくらなければならない。
→事務局に任せるのではなく、委員がアプローチしてはどうか。
- ・(記事は)「安全安心」というテーマ出しだけでは興味をひかない。
←防災に関して、例えばどのような切り口で審議するか。
- ・メディア・あさお：P. 6 あさおヒューマンでも区民会議委員を紹介してくれる。→菅原委員長掲載予定。
- ・原稿作成において、どういう内容が記事として有効か、記事にしやすいものなどについて編集者とやりとりをしたい。

(2) 専門部会の進め方について

ア 正副部会長の選出方法について

【決定事項】

- ・正副部会長の選出方法については各部会の裁量に委ねる。
- ・企画部会については、部会が決定したら副部会長を設置する。

(主な意見)

- ・委員長・副委員長と部会長・副部会長は重複しないようにするか。
←重複しても良い。
- ・副部会長の設置の有無等については、企画部会で強制する権限はないので、各部会で決定すれば良いのでは。
- ・企画部会の副部会長は、部会が決定したら設置する。

イ 調査審議課題の選定

【決定事項】

- ・各部会委員に審議テーマに関しての取り組みたいことを事前照会する(発表時間5分程度の内容でまとめる)。
- ・専門部会で「審議テーマ・部会名の決定」を行う。

(主な意見)

- ・テーマ内の課題の分割についてはどうか(第3期では2つに分かれた)。
- ・複数テーマにわかれた場合は均等に人員配分するなど、フレームを早めに決定する必要がある。
- ・前期は、テーマを提案した人が中心となって調査審議を進めることとなり、一人の負担が重かった。
- ・第2回全体会では、審議テーマが仮称のままとなってしまった。今後、企画部会と全体会との関係性において、企画部会で提案した事項を全体会で決定するというプロセスを認識しておく必要がある。

ウ スケジュール等

【決定事項】

- ・勉強会の公開について検討する。

(主な意見)

- ・ 専門部会は原則月 1 回だがもっと回数が増える可能性がある。増えた分は「勉強会」として開催するが、公開はできない。
 - ← 勉強会を区民、市民に告知しないのはおかしい。
 - ← 情報公開制度に沿い、きちんと公開できるようにできないか。
- ・ 予算の関係で勉強会となるのであれば、報酬の受取りの辞退はできるのか。
 - 地方自治法では、会議出席者に対する支払が規定されているが、辞退はできる。

(3) その他

特になし

以上